



4月18日（木）に実施された全国学力・学習状況調査と7月4日（木）に実施された東京都「児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果をお知らせします。調査結果を基に、授業改善推進プランを作成し、それを基に授業を改善してまいります。（授業改善推進プラン全体計画は、学校のホームページに掲載しております。そちらもご覧ください。）

全国学力・学習状況調査（6年）の結果について

1. 学力・学習状況調査 集計結果 各教科平均正答率の比較（%）

	国語	算数
南田中小学校	69.0	75.0
東京都公立校小学校	65.0	70.0
全国公立小学校	63.8	66.6

2. 分類・区分別集計結果

(1) 国語

分類	区分	平均正答率（%）		
		南田中小	東京都（公立）	全国（公立）
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	74.6	73.1	72.3
	書くこと	55.6	55.4	54.5
	読むこと	91.3	83.0	81.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	61.0	55.7	53.5
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	60.3	57.2	57.6
	話す・聞く能力	74.6	73.1	72.3
	書く能力	55.6	55.4	54.5
	読む能力	91.3	83.0	81.7
	言語についての知識・理解・技能	61.0	55.7	53.5
問題形式	選択式	79.6	76.7	75.1
	短答式	57.7	51.1	48.7
	記述式	60.3	57.2	57.6

○ **全ての領域・観点で都や全国の平均値を上回っています。**「読むこと」「読む能力」は、都や全国の平均値と比べ、高い値でした。特に「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む」問題の正答率が高かったです。

→ 継続して実施している、毎週金曜日の朝読書活動や、図書館支援員による読書推進活動（ブックトーク）、様々な教科を通して実施している南田中図書館と連携した調べ学習、よむよむたいの皆様による読み聞かせ等により、本に親しむ機会が多く設定されています。これらの活動が成果を上げ、「読む能力」が向上していると考えられます。今後もこれらの活動を充実させていきます。

△ 「書くこと」「書く能力」は、都の平均値を上回っています。しかし、その差は0.2～0.3%しかありませんでした。

→ 国語の授業では、段落ごとに要約や、小見出しをつける活動をしたり、物語文や説明文の読解した後、単元のまとめとして、自分の考えを明確にして意見文を書く活動を取り入れたりすることで、書く能力を向上させていきます。その他の教科でも、自分の考えを書く活動や、新聞作りを通して、文章構成を推敲する力を身に付けさせていきます。

(2) 算数

分類	区分	平均正答率 (%)		
		南田中小	東京都 (公立)	全国 (公立)
学習指導要領の領域等	数と計算	71.4	66.7	63.2
	量と測定	61.9	57.5	52.9
	図形	83.3	79.0	76.7
	数量関係	77.6	72.2	68.3
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	—	—	—
	数学的な考え方	70.8	65.5	62.2
	数量や図形についての技能	81.0	77.2	73.6
	数量や図形についての知識	77.4	72.7	70.1
問題形式	選択式	84.8	78.1	75.7
	短答式	79.5	76.4	72.8
	記述式	56.0	51.5	47.4

- **全ての領域・観点で都や全国の平均値を上回っています。**「数学的な考え方」は、都の平均値から3.8%、全国の平均値から7.4%上回りました。特に「目変化する二つの数量から目的に適したものを選択することができる」ことを問う問題では、都の平均値よりも12.1%も高い正答率でした。
- 本校では、全学年の算数の授業で、習熟度別授業を実施しています。各クラスで、習熟度に応じた問題解決型の学習を推進してきた成果だと考えられます。
- △ 「 $6+0.5 \times 2$ 」の問題で、都の平均値を1.2%下回りました。加法と乗法の混合した整数と小数の計算方法に課題が見られます。
- 新しい単元の導入時に、既習事項の確認をするなどして、基礎的、基本的な学力の確実な積み上げを目指していきます。

東京都「児童・生徒の学力向上を図るための調査（5年）の結果について

1. 各教科の調査結果（正答率 %）

教科	南田中小	東京都
国語	71.7	67.6
社会	69.4	66.7
算数	66.0	60.1
理科	58.0	56.8

2. 観点別の調査結果（正答率 %）

教科	思考・判断・表現 (国語：話す・聞く)		技能 (国語：書く)		知識・理解 (国語：言語)		読心	
	南田中	東京都	南田中	東京都	南田中	東京都	南田中	東京都
国語	71.2	65.3	75.0	70.4	69.5	67.4	73.2	67.4
社会	66.8	63.5	71.0	66.8	69.3	70.6		
算数	52.6	47.2	71.4	65.0	73.1	67.6		
理科	55.2	53.0	72.7	67.0	53.1	55.0		

3. 考察

各教科とも、ほとんどの分類・区分で都平均を上回り、概ね良好です。しかし、「知識・理解」の観点では、社会が1.3%、理科が1.9%、都平均を下回りました。授業で知識を学ぶだけでなく、学んだ知識を活用して、新たな問題を解決したり、普段の生活の中で活用したりする場面を、意識的に設定することで、知識の確実な定着と、深い理解を推進していきます。

体力向上を図るための調査（1～6年生）の結果について

1. 体力合計点の平均比較（実施月 6月）

学年	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
南田中小	27.7	28.9	37.4	35.5	43.3	43.6	46.6	46.9	54.3	58.7	55.3	57.5
練馬区	29.4	29.2	36.7	36.8	42.6	42.9	48.3	49.4	54.3	55.5	59.2	61.3

※網掛けの部分は、練馬区の平均と比較し、本校の合計点平均が同等もしくは上回った学年です。

2. 測定種目の平均比較

	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
握力(kg)	8.4	8.7	12.7	10.9	13.5	12.7	14.9	14.4	19.2	18.8	19.7	17.8
区平均	9.0	8.5	10.6	10.1	12.4	11.8	14.3	13.6	16.5	16.2	19.1	19.1
上体起こし(回)	11.7	11.8	12.4	11.2	16.8	17.5	18.3	17.1	20.1	20.2	21.7	19.1
区平均	11.4	11.0	14.2	13.5	16.4	15.9	18.5	18.0	20.6	19.6	22.1	21.1
長座体前屈(cm)	21.0	23.0	29.5	31.3	25.0	31.2	31.8	34.3	37.1	39.6	29.2	37.3
区平均	25.1	27.8	27.4	30.6	28.7	32.5	30.7	34.6	33.4	37.7	35.1	40.8
反復横跳び(回)	26.0	26.0	30.5	28.3	33.7	31.5	36.1	33.3	40.8	42.1	44.0	43.0
区平均	26.6	25.5	30.0	28.9	33.6	31.2	37.2	35.8	42.0	40.1	44.6	42.9
20mシャトルラン(回)	14.8	12.2	28.0	17.2	40.2	24.1	37.5	29.2	38.6	38.4	57.1	44.8
区平均	17.7	14.3	26.4	19.7	34.8	25.2	43.4	32.4	50.0	38.3	57.8	46.0
50m走(秒)	11.7	11.5	11.0	11.4	10.1	10.5	9.7	10.4	9.4	9.5	9.1	9.5
区平均	11.5	11.9	10.6	10.9	10.0	10.4	9.6	10.0	9.3	9.5	8.9	9.1
立ち幅跳び(cm)	109.8	106.0	129.7	116.6	141.0	130.7	143.2	135.4	155.8	156.6	157.7	150.7
区平均	110.5	103.2	122.9	114.3	133.2	124.5	142.0	135.0	150.7	144.0	160.0	153.2
ソフトボール投げ(m)	7.0	6.0	11.0	6.2	14.0	7.8	15.5	10.5	21.8	13.5	20.1	12.4
区平均	7.7	5.2	10.9	7.0	14.3	8.8	17.8	10.9	21.2	13.1	24.2	14.9

※網掛けの部分は、測定種目の平均を練馬区の平均と比較し、本校が同等もしくは上回った種目です。

3. 全体的な特徴と本校の取組

握力と立ち幅跳びは多くの学年で区の平均を上回りました。また、ここ3年間の記録の中で、区平均を上回った項目が一番多い記録となりました。朝学習の時間に定期的に「外遊び」の時間をとり入れる、持久走旬間や、なわとび旬間を設定する、休み時間に雨が降っていて校庭が使用できない場合は、順番で体育館を使用できる学年を設定するなど、子供たちに体を動かす機会を地道に設定してきた成果が、徐々に出てきていると考えています。

今後も、これらの活動はとり入れつつ、課題が見られる、動きを持続する能力・ねばり強さ（20mシャトルラン）やすばやさ・力強さ（50m走）を向上できるように、体育の授業改善に取り組んでまいります。